

**「生活困窮者支援に関する緊急要請」への
当初予算(案)の措置状況について**

防府市

- ・生活困窮者自立支援制度の支援機関について、人員体制の拡充や財政支援などにより伴走型の相談業務を強化する。
- ・自立して生活していくための基盤である住居を失った人や失う恐れのある人に対し、家賃補助や「住まい」の現物サービスなど支援策を講じる。
- ・生活困窮者を支援する労働者福祉団体やNPO法人などに対する財政支援を行う。

令和6年8月に完成予定の新庁舎に、防府市社会福祉協議会が移転することで、利便性の向上や連携の強化を図ります。

(回答)

防府市では、防府市社会福祉協議会内の自立相談支援センターにおいて、お困りの方に寄り添いながら自立に向けた対応をしっかりと行ってまいります。

住居を失うおそれのある方に対しては、家賃補助ができる住居確保給付金の申請受付を行い、住居を失った方に対しては、一時的な宿泊場所や食事等の提供を行っております。

生活困窮者自立支援事業 予算額 2,066万円

新子どもたちの居場所づくり 予算額 230万円

社会福祉協議会関係事業 予算額 7,682万円

(回答：社会福祉課)

- ・貧困の連鎖に陥ることのないよう、子どもの貧困対策として、経済的支援、就労支援、食事支援、生活支援、学習支援などを包括的に行う。とりわけ、ひとり親家庭の課題を把握して、母子・父子自立支援員を中心としたアウトリーチ型の相談支援体制を強化する。
- ・「子ども食堂」が子どもや子育ての地域の中での居場所となるよう、地域と連携できるよう支援する。運営にあたっては、地域の誰もが利用できるよう配慮する。

(回答)

子どもの貧困対策として、令和5年度当初予算では、食事支援、生活支援、学習支援等を行う団体等に対し、補助金を交付する「子育て支援活動補助事業」を拡充することとしております。支援団体等と連携を強化し情報共有することで、支援が必要な子どもの把握を行います。

母子・父子自立支援員については、令和4年度から勤務日数を増やす等の相談受付体制を強化し、ひとり親家庭の生活の安定と自立の促進を図ってまいります。

新子どもたちの居場所づくり 予算額 230万円

(子供の居場所づくり推進補助事業、子ども食堂活動支援ネットワーク事業、ヤングケアラー支援推進事業)

(回答：子育て支援課)